



## News Release

### ニュースリリース

#### スパイレント、世界初の5G Over-the-Air Massive MIMOビームフォーミングRFテストベッドの実証で協業

ファーウェイ、CAICTおよびスパイレント、5G無線システム設計を実証

スペイン・バルセロナ（2018年2月27日）：モバイルネットワーク、サービスおよびデバイス試験のグローバルリーダー企業であるスパイレントコミュニケーションズ（Spirent Communications plc、LSE:SPT）は本日、中国情報通信研究院（China Academy of Information and Communication Technology：CAICT）に設置されたOver-the-Air測定室の実証に成功したことを発表しました。これにより、新しい5G基地局アレイアンテナシステムの現実的な評価が可能になります。

5G基地局（gNodeBs）は、数十個または数百個のアンテナエレメントで構成されるアンテナアレイを使用して、4G技術と比較して1秒あたり10倍のデータ量を送受信します。CAICTは、5G無線信号が空気中をどのように伝播し、反射、吸収、運動などの効果によりどのような影響を受けるかを把握できる高度な数学的「チャンネルモデル」を開発しました。CAICTはスパイレントとの協業で、反復可能なラボ環境でこれらの効果を再現できるテストベッドを設計しました。

CAICTが開発したこのシステムは、ファーウェイによる5G gNodeBアンテナアレイ設計の試験に使用されました。このシステムによりファーウェイは、測定可能および反復可能な方法で、都市部や農村部などの数種類の現実的環境をシミュレートできます。このシステムは、スパイレントのプローブグループ技術とSpirent Vertexチャンネルエミュレータ 64ポート構成を使用して、無響測定室内に100MHz以上の無線チャンネル帯域幅を作ります。この設計により、ファーウェイは、gNodeBにより生成される無線ビームパターンをキャプチャし、5Gの携帯端末が受ける効果を再現できます。

中国情報通信研究院の5G製品マネージャーであるZhang Xiang博士は次のように述べ

スパイレント、世界初の5G Over-the-Air Massive  
MIMOビームフォーミングRFテストベッドの実証で協業

ています。「5G実現に向け業界が必要とする試験システムを先駆けて開発することにスパイレント社とファーウェイ社と協業でき光栄に思います。5Gは試験段階から商業展開に移行しています。スパイレント社とCAICTは引き続き協力して、さらに多くの現実的環境をサポートできるように試験方法を改善し、5G性能を進化させていきます。」

高度なRFチャネルエミュレーション試験機能を5Gアプリケーションにもたらすスパイレントのソリューションについて詳しくは、MWC 2018にて当社ブース（ホール6、6J37）までお越しいただくか、<https://www.spirent.com/Products/Vertex-Channel-Emulator>をご覧ください。